



【カルボプラチン+アリムタ+テセントリク療法について】



様

コース目



お薬の名前と治療のスケジュール(副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次の治療開始を延期することがあります。)

めやすの時間			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目
薬の名前	作用																							
パンビタン	葉酸を含む総合ビタミンです	1日1回 内服																						
グラニセロン注 デキサート注	吐き気止めです	30分																						
イメンドカプセル	吐き気止めです	朝 内服																						
テセントリク注	抗がん剤です	1時間																						
アリムタ注	抗がん剤です	10分																						
カルボプラチン注	抗がん剤です	1時間																						

※ アリムタ注による副作用軽減のため、パンビタン末(葉酸の粉薬)の内服、メチコパール(ビタミンB12)の注射を行います。



治療による副作用

:注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目
自覚症状	食欲不振・吐き気																						
	皮膚疹																						
	脱毛(頭髮・まつ毛・眉毛など)																						
	手足のしびれ																						
検査値	白血球減少																						
	赤血球減少(貧血)																						
	血小板減少																						
	腎機能低下																						
	肝機能低下																						

* テセントリク注の副作用につきましては別紙を用いてご説明します。



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。

広島市民病院薬剤部